

# 令和5年度 杜の都のエコ・スクール活動報告書

学校番号	238	学校名	仙台市立大沢中学校	校長名	松崎 雅威
------	-----	-----	-----------	-----	-------

- 1 取組のタイトル、テーマ  
「環境について考え、実践しよう」



- 2 取組の紹介  
(1) 古紙回収

各教室で配付されるお便りや教科で使用する学習プリントは、不足が起きないように余分に印刷されていたり、あらかじめ予備のプリントが入っていたりするなど、残部が発生することがあります。また、教室に掲示されたプリントなども、期間が過ぎれば剥がされて廃棄されることとなります。そこで、それらの紙類をゴミ箱に捨てないでクラスごとに古紙回収用のトレイに入れることにしています。たまった紙類は、毎週金曜日の放課後に、各学級の環境委員が白紙（白黒印刷）と色紙（白紙へのカラー印刷を含む）に分別した後、全体の回収ボックスに入れることになっています。※全体の回収ボックスは職員室前に設置されています。

この活動を通して、学級内では古紙がゴミ箱に入れられることがほとんど無くなるなど、再利用を意識した行動が見られるようになりました。また、白色と色付きの紙を自主的に分別してクラスに設置されたトレイに入れる生徒の姿も見られました。もちろん教員もなるべく余分な印刷物が出ないようにすることを心がけています。

- (2) 省エネ・エネルギー源

今年度も移動教室の際に、学級委員は電気を消すことになっています。冷暖房についても教室を空ける際には、そのことを前時の授業担当の先生に伝え、電源を確実にOFFにしています。学級委員以外の生徒からも冷暖房の電源をOFFにしてほしいと言われていたり、教室に教員がいないときには、隣の学級や廊下にいる教員に依頼したりすることもあり、多くの生徒が省エネを意識して生活することができました。また、暑いときにはカーテンを閉めたり、寒いときには休憩時にカーテンを開けて日光を取り入れたり、天井に設置してある扇風機を使って暖かい空気を循環させるなど、様々な工夫で冷暖房時のエネルギー消費の低減につなげています。

また、本校の屋上には太陽光パネルが設置されており（右図）、再生可能エネルギーを、学校で使用する電力の一部として使用しています。



本校屋上の太陽光パネル

- (3) 節水

今年度から5類に移行された新型コロナウイルスですが、依然として流行は続いています。また、インフルエンザなども含めた感染症予防の対策として、手洗いの重要性は変わらないことから、保健委員会を中心に手洗いの声掛けを行っています。その際や、トイレ使用時などの節水の呼びかけを、環境委員が中心になって行っています。また、節水を呼びかけるポスターの掲示も行っています。

- 3 取組の成果（児童生徒の変容）

環境委員を中心に、生徒自らがリサイクルや省エネ、節水を呼びかけたり、それらの活動を実践したりしていく中で、一人一人の環境に対する意識が高まったと考えられます。今後も古紙回収など、これまでの活動を継続していくとともに、環境委員会だけでなく、生徒会執行部や様々な委員会が連携し、新たな取り組みなどについても模索していきたいと思っております。そして、生徒一人一人の環境に対する意識を更に高めていきたいと考えています。